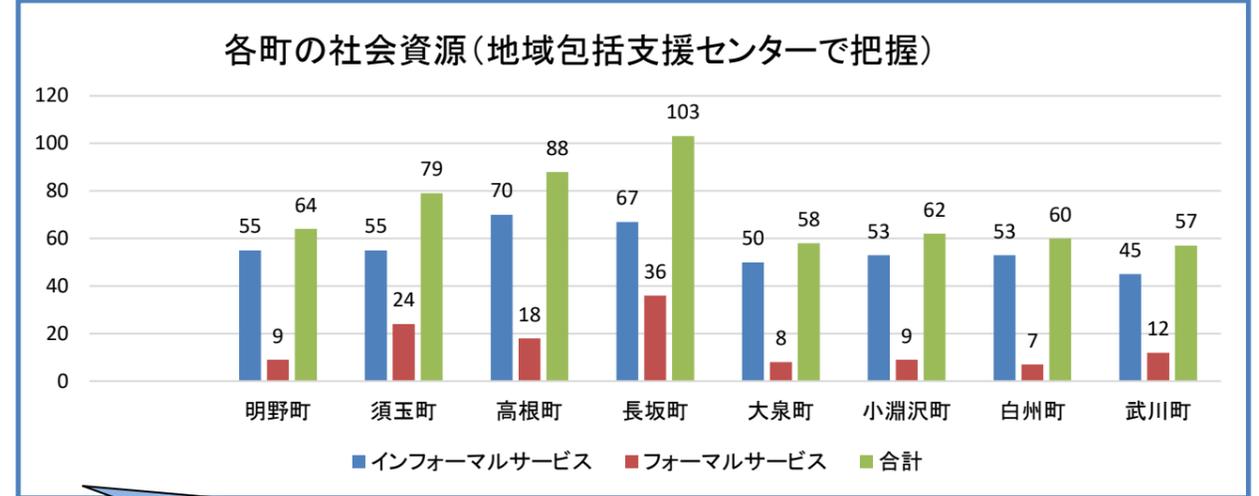




北杜市の社会資源・権利擁護の様子

資料6-④

インフォーマル	事業名等	明野町	須玉町	高根町	長坂町	大泉町	小淵沢町	白州町	武川町
		通所系	9	6	12	14	5	6	6
生活支援系(業者)	通いの場	9	6	12	14	5	6	6	5
	いきいきサロン(社協)	7	10	14	9	4	6	10	1
	オレンジカフェ	1	1	0	2	0	0	0	1
	自主体操教室	0	1	2	3	3	5	2	3
	移動販売	3	2	3	0	0	0	0	0
	その他の移動販売	2	2	3	3	2	3	2	2
	配食	2	2	4	4	4	2	2	2
	宅配(食事)	2	2	2	2	2	2	2	2
	生活支援業者	12	12	12	12	12	12	12	12
	外出支援(タクシーなど)	13	13	13	13	13	13	13	13
	理美容	4	4	5	5	5	4	4	4
	小計	55	55	70	67	50	53	53	45
フォーマル	訪問サービスB	0	0	0	2	0	0	0	0
	通所サービスB	0	0	0	0	0	1	0	0
	通所サービスA	1	2	0	2	1	1	0	1
	居宅予防事業所	1	3	4	2	0	1	1	1
	訪問介護	0	2	1	2	0	1	0	0
	訪問看護	0	1	0	2	0	0	0	1
	訪問リハビリ	1	0	0	1	0	0	0	1
	福祉用具	0	1	0	0	0	1	0	1
	通所リハビリ	0	1	0	1	0	0	0	1
	通所介護	1	1	3	2	2	2	0	1
	地域密着型通所介護	0	1	0	2	0	0	0	0
	認知症対応型通所介護	0	1	0	1	0	0	0	0
	小規模多機能型居宅介護	1	1	0	1	0	0	0	0
	認知症対応型共同生活介護	0	0	0	1	0	0	1	0
	看護小規模多機能型居宅介護	0	0	1	0	0	0	0	0
	定期巡回随時対応型訪問介護看護	0	0	0	1	0	0	0	0
医療系	精神看護	0	0	1	0	0	0	0	0
	病院診療所クリニック	2	3	2	5	2	1	2	1
	歯科医院	1	2	5	4	2	1	1	3
	薬局	1	5	1	7	1	0	2	1
	小計	9	24	18	36	8	9	7	12
合計	64	79	88	103	58	62	60	57	

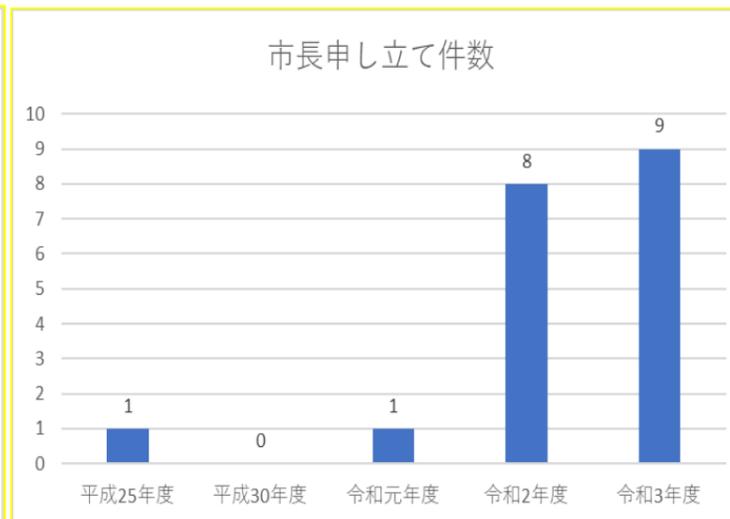
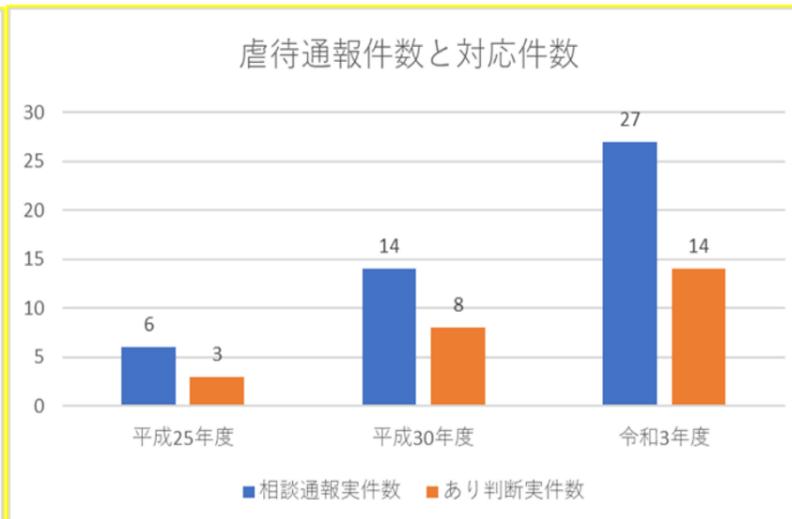
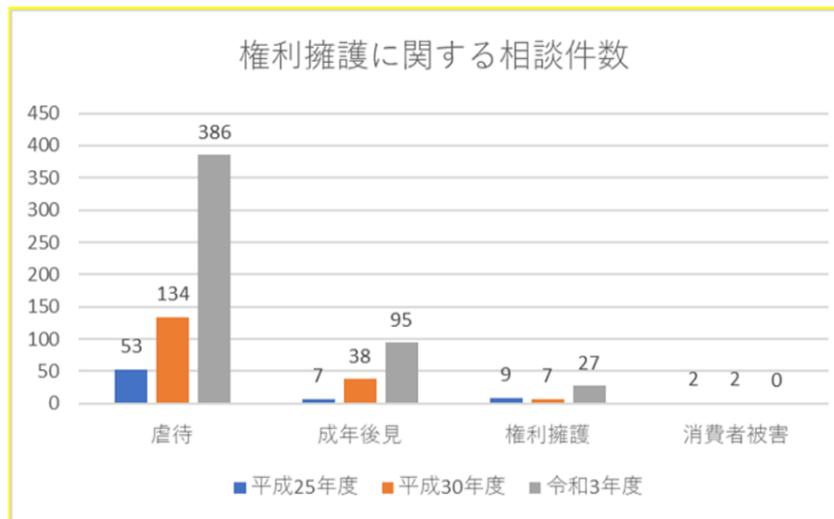


インフォーマルサービス

- ①通所系では、通いの場はコロナ禍であるが令和3年度から令和4年度では3か所増えている。社協のいきいきサロンと合わせても市全体にはいきわたっていない状況。
- ②生活支援系は、業者が提供する生活支援サービスはあるが、住民主体のインフォーマルサービスは存在していない状況が続く。

フォーマルサービス

- ①第6次ほくとゆうふうふれあい計画では、認知症対応型共同生活介護と介護小規模多機能型居宅介護をそれぞれ1箇所指定申請を見込んでいる。



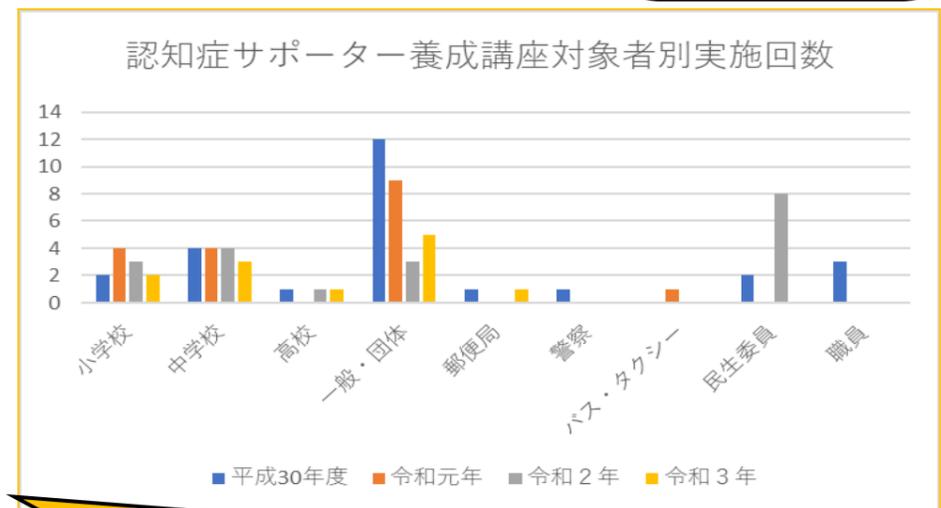
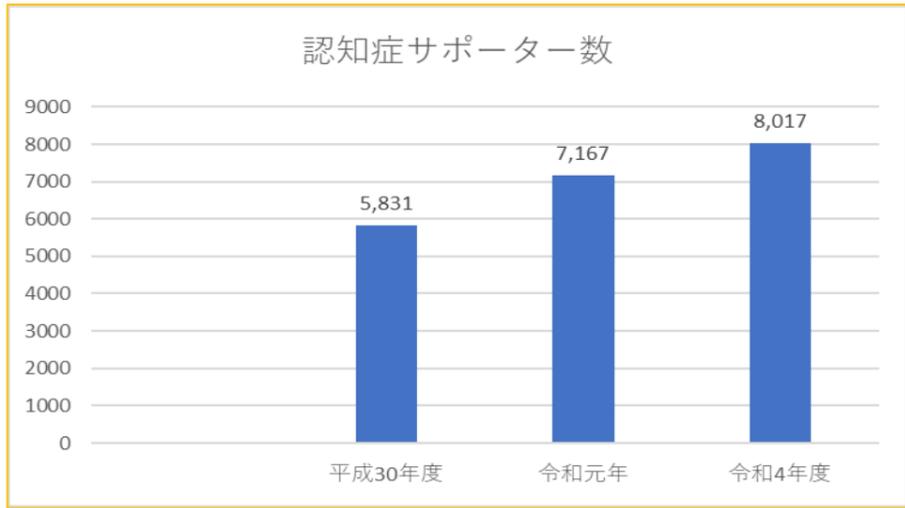
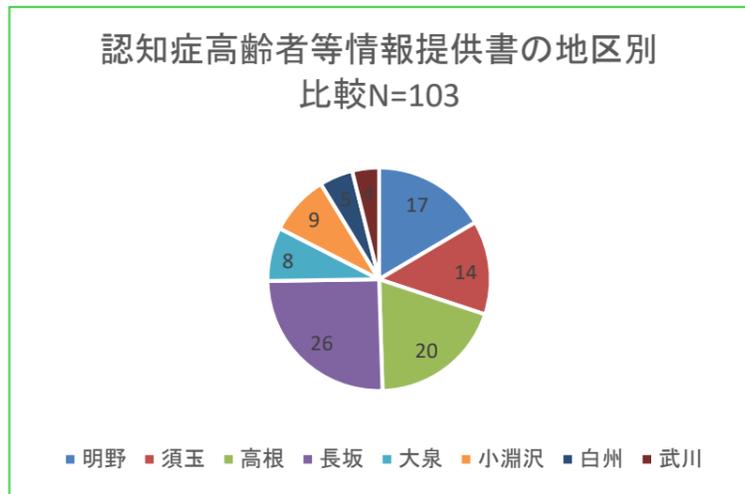
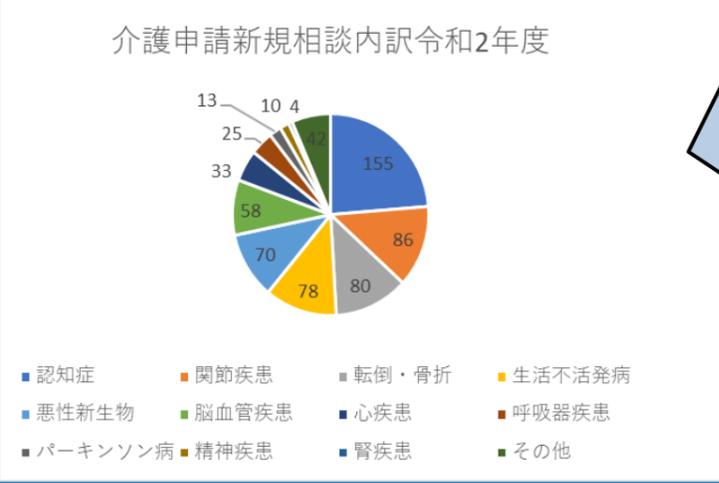
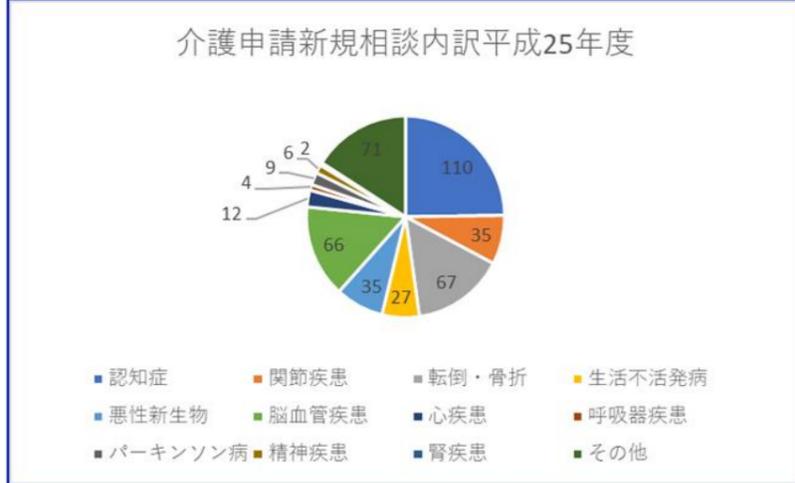
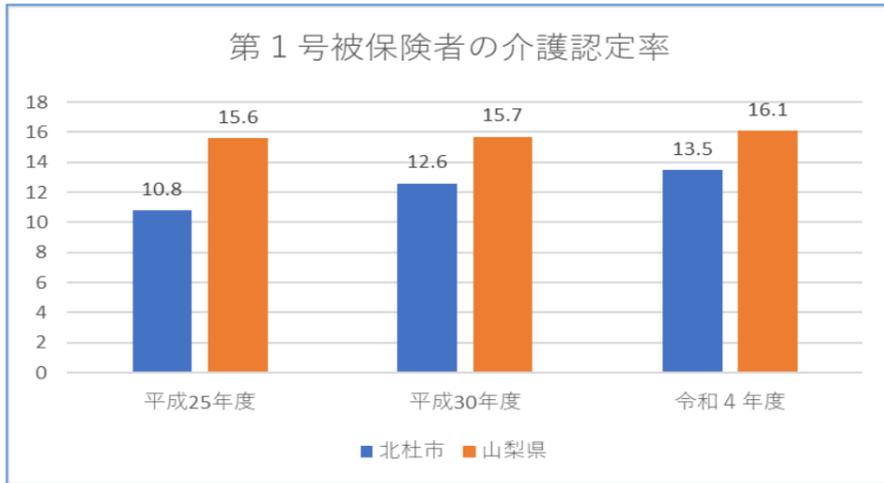
権利擁護に関する相談は年々増加。虐待の相談件数は平成25年度と令和3年度を比較すると約7倍増加。虐待通報件数は4.5倍に増加。成年後見制度の市長申し立て件数はここ数年増加。身寄りがいない方への支援が増えている。



北杜市の認知症関連の様子

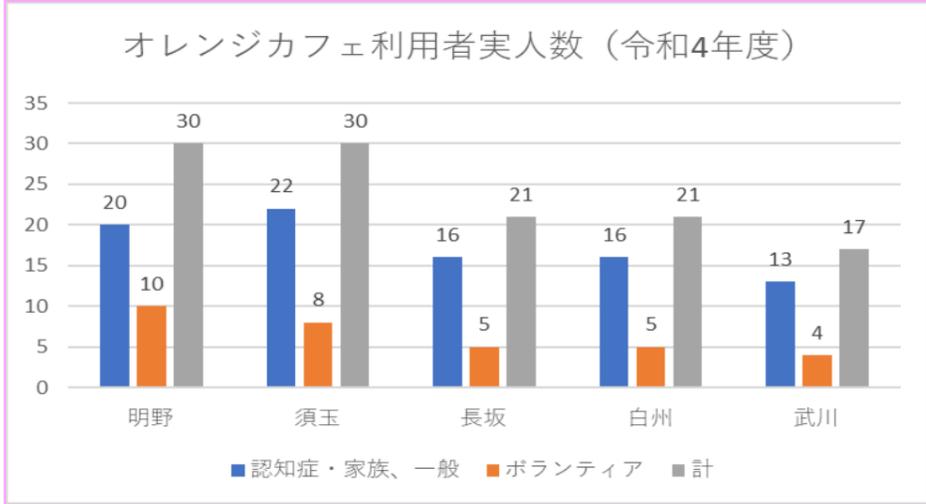
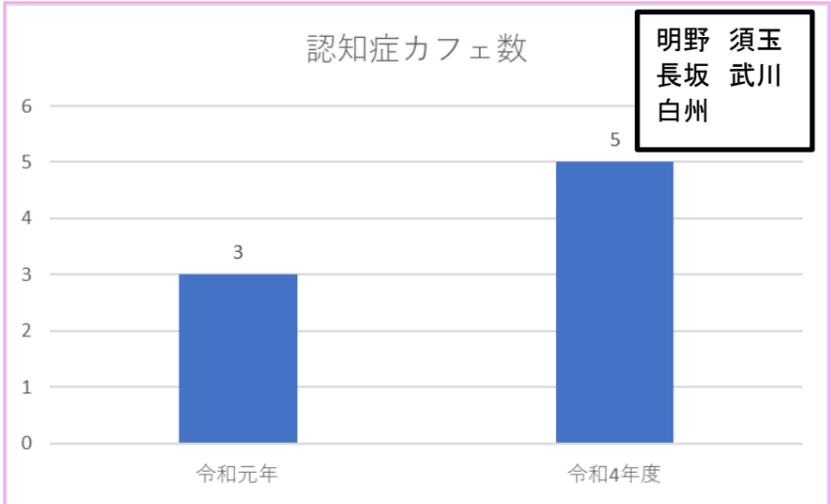
資料6-③

65歳以上(第1号被保険者)の介護認定率を比較すると年々増加している。地域包括支援センターで相談対応した中で、介護保険を新規に申請する理由として、認知症が最も多くなっている。



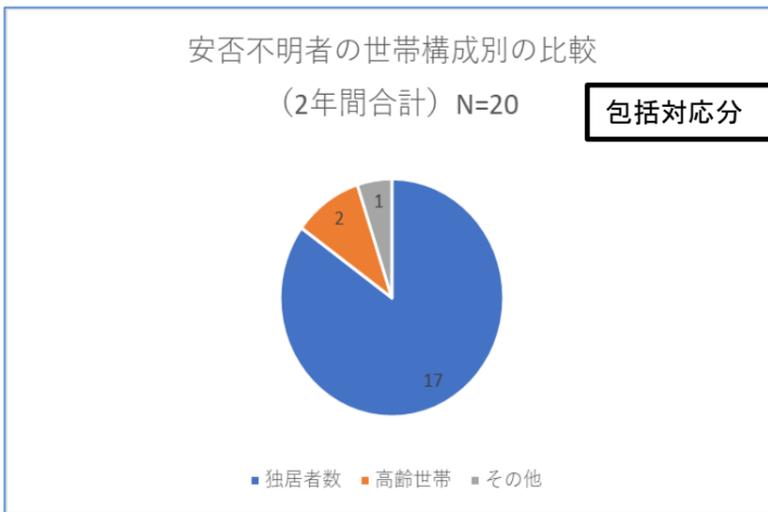
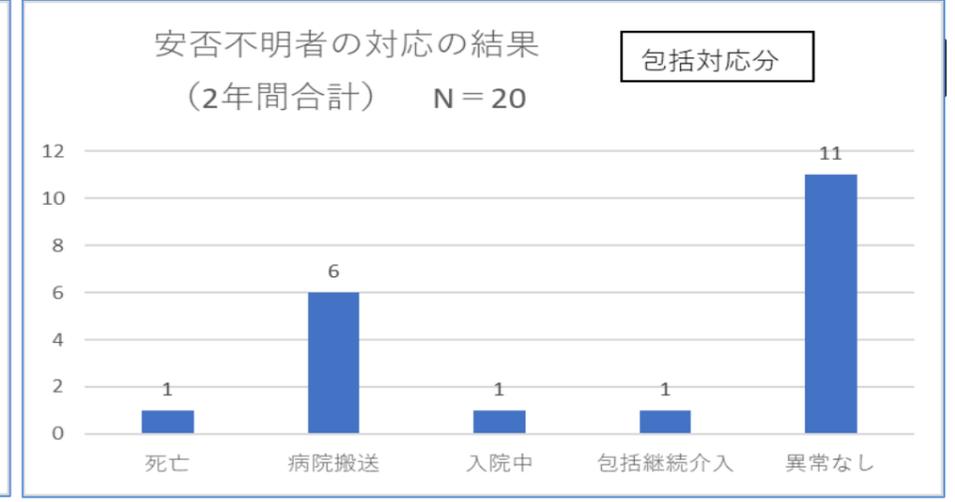
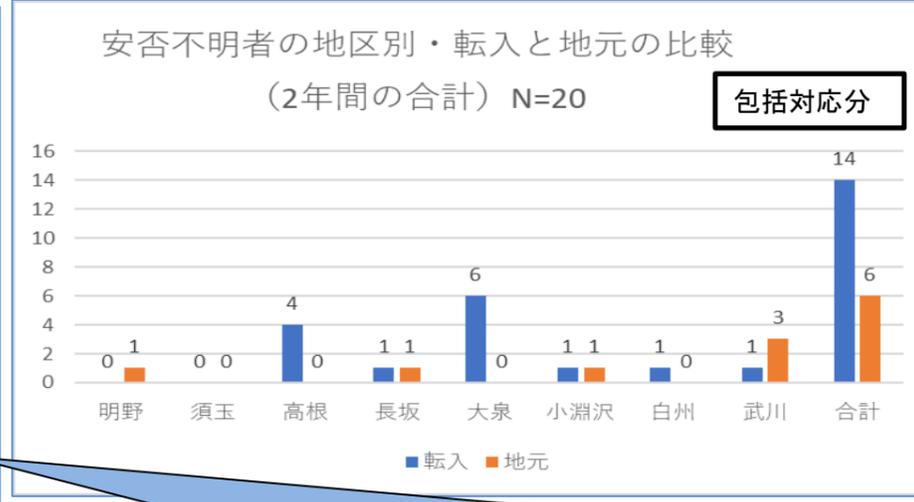
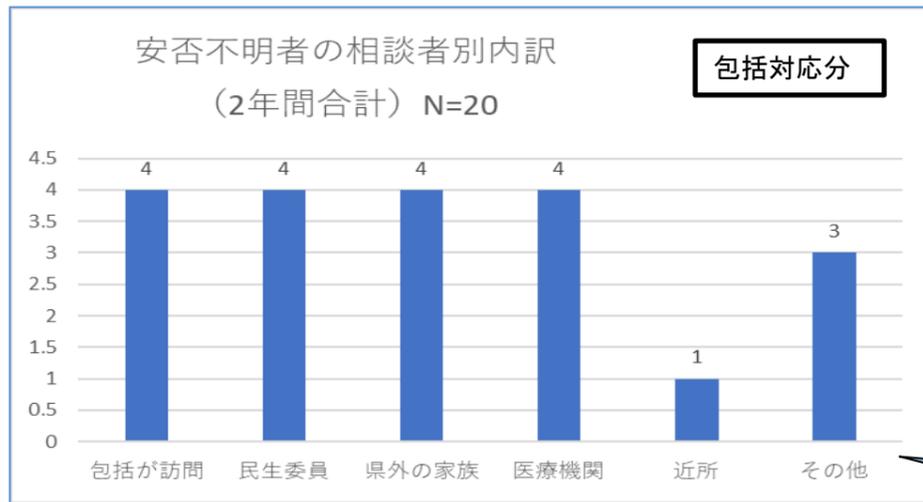
認知症サポーター養成講座は平成17年度より取り組み、サポーター数は増加。コロナの影響により令和元年度から実施回数と受講人数の伸び率が低い。平成30年度から警察署、郵便局、公共交通機関などで実施するようになった。令和4年度はウェブでの実施を試みた。

平成30年8月から開始された北杜署からの情報提供書は、令和3年度末までの総数は103件。町別では長坂、高根、明野が多い。提供書の理由としては徘徊が49件と一番多く、約半数。このほか、短期記憶障害やもの忘れ妄想等が続く。



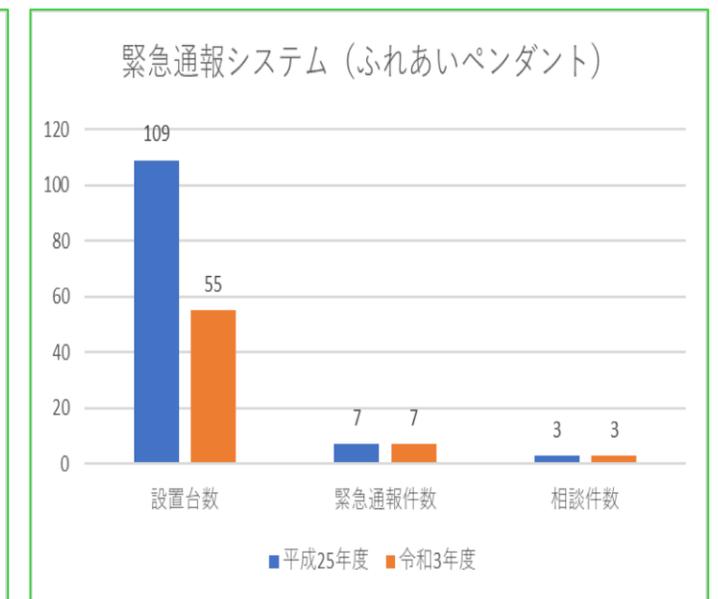
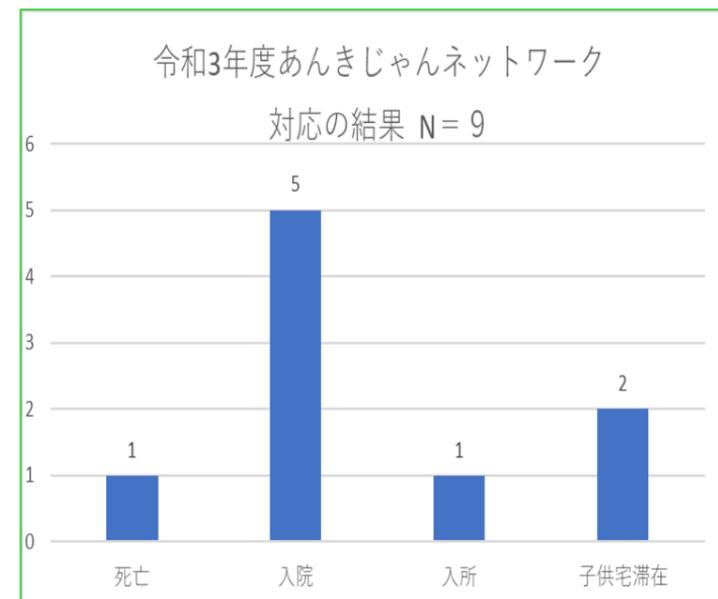
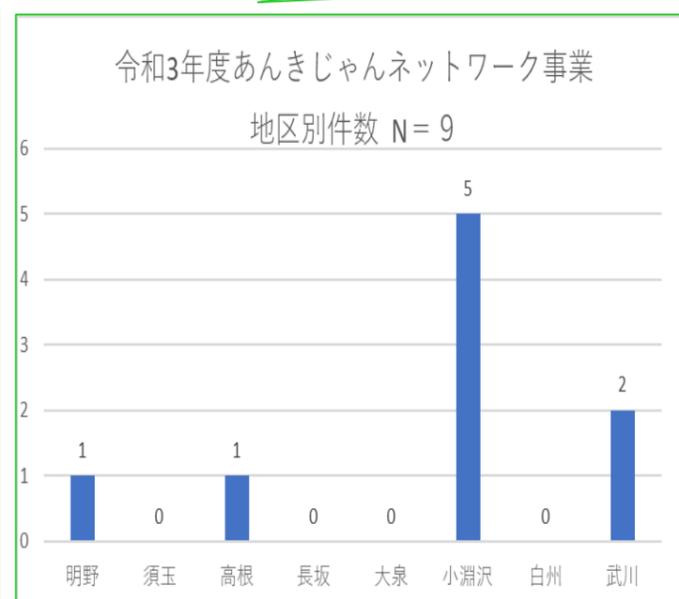
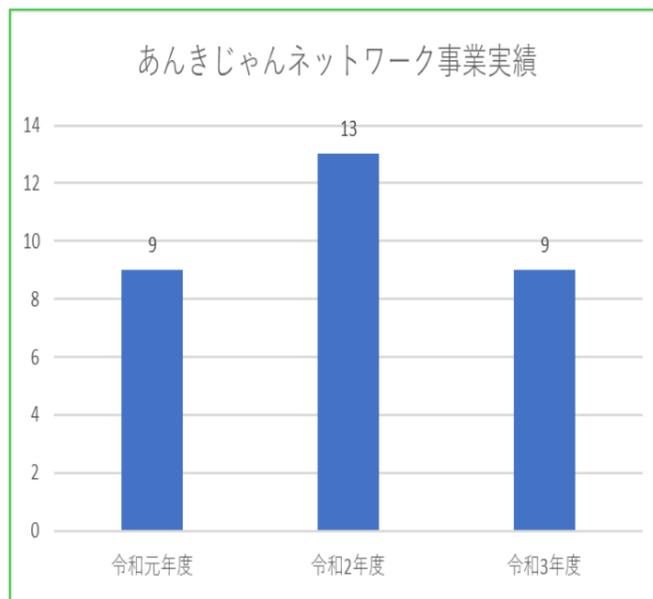
認知症カフェは、平成29年度よりスタート。開催箇所は2か所増えている。開催地区は、明野 須玉 長坂 武川 白州と限られている。オレンジカフェは、認知症に関心のある地域の方だれでも参加できる

北杜市の安否不明高齢者の様子



地域包括支援センターでは安否不明の対応の実績を令和2年度からまとめている。2年間で20件あった。平均年齢は79.9歳(64歳～93歳)。地域包括支援センターが独自で訪問した際に安否不明で対応したケースが4件、民生委員の相談が4件、県外の親族が4件、医療機関が4件(受診日であるが病気の急激な悪化か考えられる)であり近所からの相談は1件。地元か転入かでみると圧倒的に転入者が多い。地区では高根と大泉が多い。地域包括支援センターが対応した2件を抜いた9件の異常なしの相談者を見ると県外の親族が3件、民生委員が2件、病院が2件、その他が2件である。近所の方からの相談が少ないことから近所の方とのつながりが少ないことが伺える。

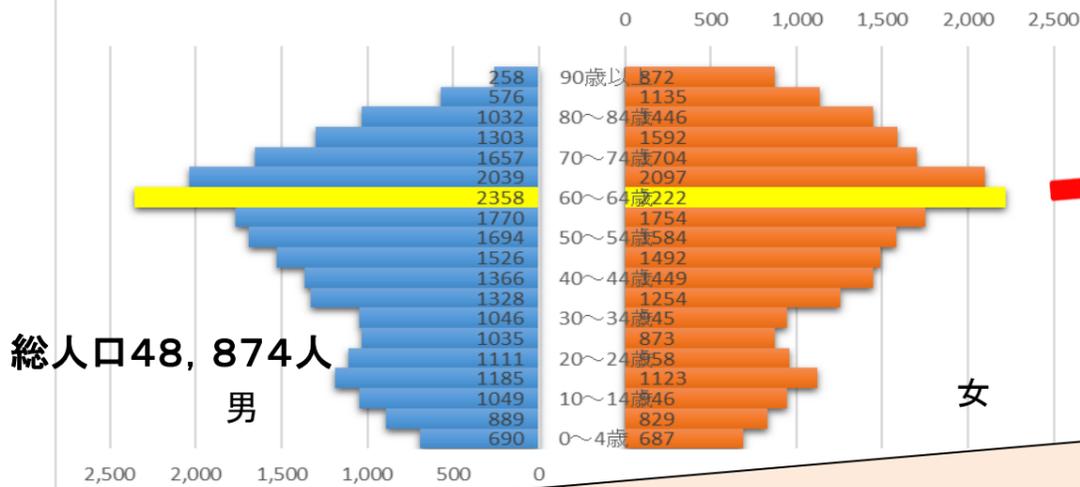
福祉課で対応しているあんきじゃんネットワーク事業の令和3年度の実績をみると、通報者は9件とも新聞配達業者である。新聞が数日間たまっていた状況での通報になる。対応の結果では1件は死亡、その他は入院や入所、子供宅に滞在中であった。年齢をみると平均年齢は89.6歳であった。(86歳～104歳) 近所の方からの相談ではないことから近所の方とのつながりが少ないことが伺える。また、緊急通報システム(ふれあいペンダント)は、平成25年度と令和3年度では設置台数が半減しているが利用はされている。



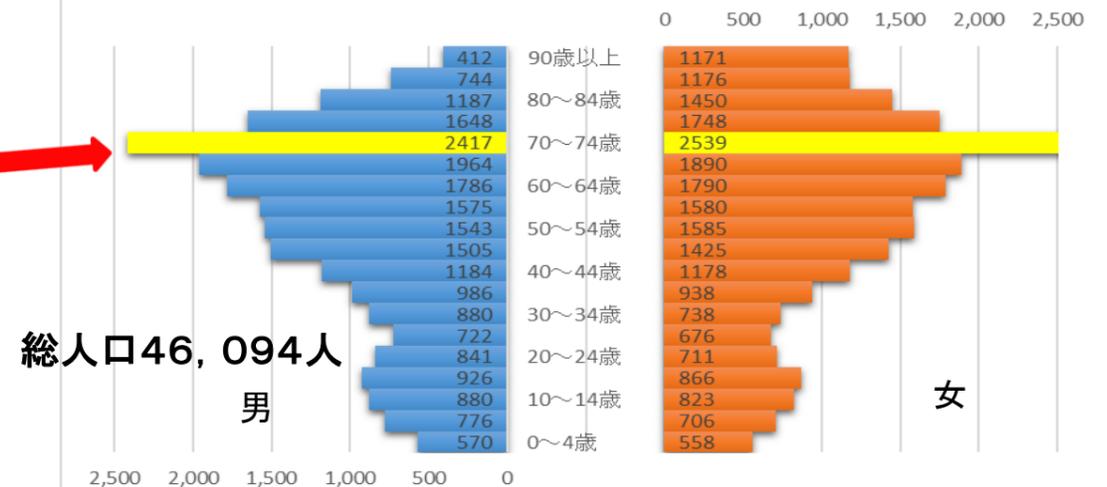


北杜市の高齢者の様子

平成25年度人口ピラミッド

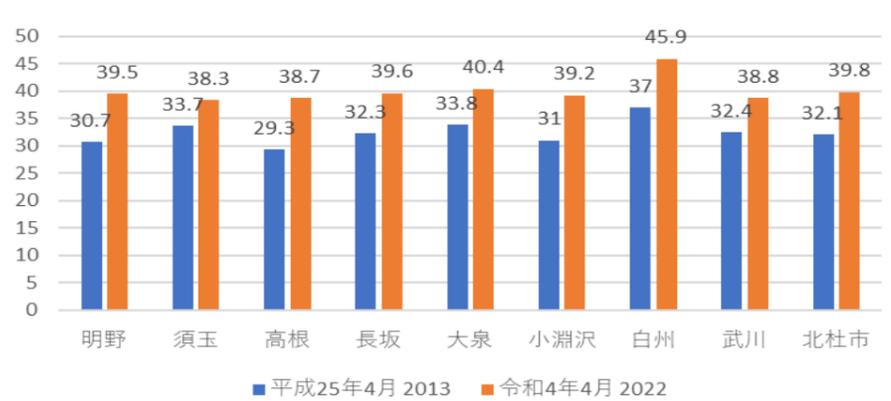


令和4年度人口ピラミッド



平成25年度と令和4年度の人口の比較。平成25年度、60歳から64歳までが一番多かった年齢層が、約10年後にも一番多くなっている。また、人数増加率も一番多くなっている。この年齢層の移住者の増加が確認できる。しかし、出産数は減少し高齢者を支える64歳未満が減少。

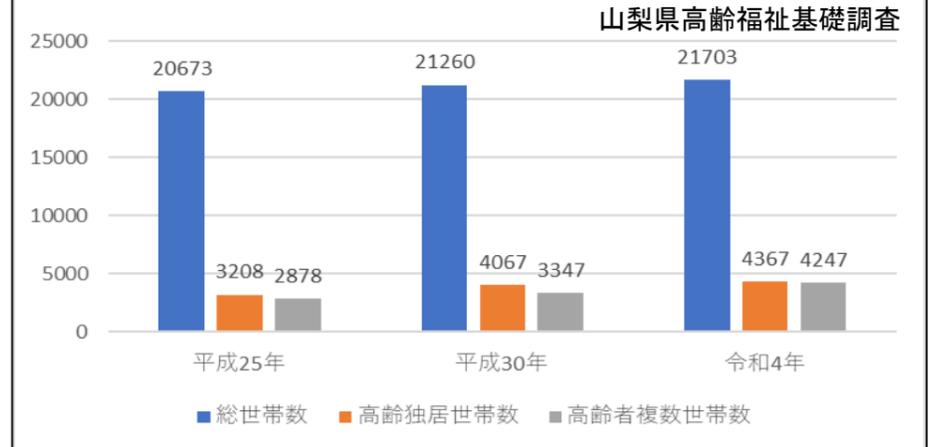
各町の高齢化率



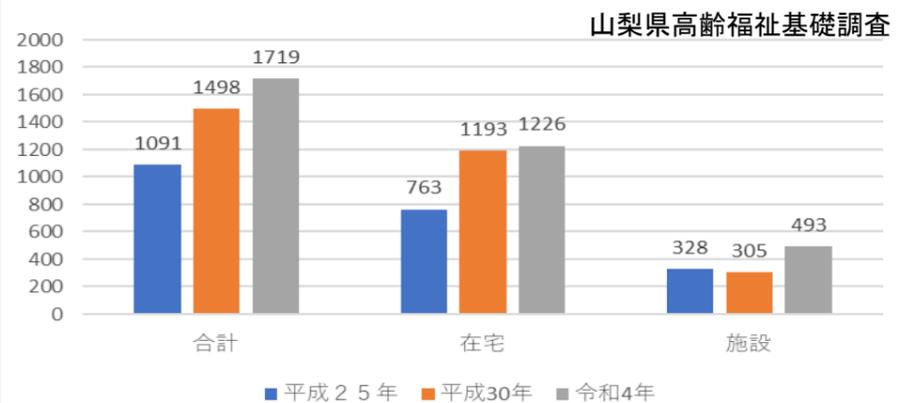
平成25年度と令和4年度の各町の高齢化率。北杜市全体は32.1%から39.8%に上昇している。

総世帯数は年々増加。独居高齢世帯と高齢者複数世帯も年々増加。令和4年では合わせると8614世帯であり約4割を占めている。

高齢者世帯構成別の比較



認知症高齢者数



認知症高齢者は年々増加。在宅で生活している方が多い。令和4年度をみると、約7割の方が在宅で生活している。

在宅で生活している寝たきり高齢者は増えている。

在宅寝たきり高齢者の比較

